

令和5年度 福井市越廼中学校スクールプラン

福井市学校教育目標

「郷土福井に誇りを持ち、たくましく生きる子どもの育成」

福井市学校教育方針

学びをつなぐ・未来につなげる
～「つながる」を大切にしたい学校づくり～

越廼中学校区教育テーマ

「地域に誇りを持ち、世界にたくましくはばたく越廼っ子の育成」

【学校教育目標】

知・徳・体の調和のとれた力を育み、地域を愛する生徒の育成

【めざす生徒像】

- ◆目標を持ってねばり強く学び続ける生徒
- ◆誰とでも仲良く人間関係を深め、認め高め合える生徒
- ◆地域を知り、地域に関する活動に積極的に参加する生徒



教師・家庭・地域の願い

- ・学習や運動に粘り強く取り組む子
- ・地域を愛し、次代を担う子

生徒の実態

- ・明るく素直で、学習課題に対してまじめに取り組む。
- ・地域活動に積極的である。
- ・発表や質問、他者との話し合いができる。

【研究主題】

「課題解決に向けて粘り強く取り組む生徒の育成」
～ つながりを大切に、学ぶ意欲を高める教育活動 ～

確かな学力の育成

- ◎見方・考え方を働かせ、ねばり強く追究する生徒の育成
- 基礎・基本の確実な定着

<具体的な取組>

- ・学びを広げ、深める課題づくり
- ・振り返りと学習評価の工夫
- ・ICTを活用した協働的な学習や個別最適な学習の推進
- ・NIEの推進

豊かな心・健やかな体の育成

- ◎夢や希望をもち、目標に向かってねばり強く努力する生徒の育成
- 認め・高め合える学級・学校づくり

<具体的な取組>

- ・道徳や特別活動（SGEや自治的な活動）等の工夫による居場所づくり・絆づくり
- ・多様な他者との関わりを通じたキャリア教育の推進
- ・情報モラル教育の実施

地域と連携した「越廼PR」の推進

- ◎地域や学校に誇りを持ち、積極的に参画する生徒の育成
- ふるさと学習の充実

<具体的な取組>

- ・地域行事への積極的な参画
- ・子どもボランティア活動の推進
- ・「越廼PR」を軸としたカリキュラムづくり
- ・HPや便り等の発行と学校公開

協働し学び続ける教師

- ◎現職教育の充実（学習評価、ICT活用、へき複）
- 園小中連携の充実

<具体的な取組>

- ・学力調査結果分析と授業改善
- ・学校DX、ICT活用等の研修
- ・教育計画（学級経営案等）の評価と改善
- ・中学校区、へき地複式校との連携

<数値目標>

- ・ドリルコンテストへ向けて学習に意欲的に取り組み、合格できる生徒 **8割**
- ・新聞や本を週2時間以上読む生徒 **8割**
- ・ICTや新聞を授業で活用する教師 **10割**
- ・年1回の研究授業を実践する教師 **10割**
- ・生徒の「なぜ、どうして」という問いを授業に取り入れている教師 **8割**
- ・追究と振り返りを通じて、学びの広がりや深まりを認識している生徒 **7割**
- ・学びを振り返って自分の言葉で表現する場があり、語ろうとしている生徒 **7割**・教師 **10割**

<数値目標>

- ・学校が楽しいと感じる生徒 **9割**
- ・夢や頑張っていることがあり、苦手なことにも挑戦している生徒 **7割**・保護者 **7割**
- ・挨拶や肯定的声掛け（ありがとうなど）を進んで行う生徒・教師 **8割**
- ・異学年交流や多様な他者との交流、居場所づくり・絆づくりを推進する教師 **8割**
- ・生徒理解に努め、生徒の良さを認め、ほめている教職員 **10割**
- ・悩みに寄り添い支援している教師 **10割**
- ・ネットトラブル、いじめ **ゼロ又は解消**

<数値目標>

- ・越廼PRを通して社会参画の必要性を意識し、越廼地区の向上に協力することができる生徒・教師 **8割**
- ・地域行事、越廼PR、教科学習を関係づけたカリキュラムの更新 **年2回**
- ・地域行事に参加する生徒 **8割**
- ・越廼サミットを開催する **年1回**
- ・町おこし新聞を発行する **年1回**
- ・学校安全に関して、地域や専門家との協働体制で危機管理マニュアルの更新や避難訓練を行う **各1回以上**

<数値目標>

- ・県学力調査の分析を、授業や活動場面での改善に生かす教師 **10割**
- ・学校DX、ICT活用研修の開催 **年3回以上**
- ・研究主題や個人研究テーマについて組織で学び合い、実践に生かす教師 **9割**
- ・中学校区教育の努力事項と評価指標を意識して実践している教師 **8割**
- ・へき地複式3中合同交流活動や授業研究会の開催・参加 **年各1回以上**

<業務改善のための取組>

- ・学校DX化の推進（会議資料のペーパーレス化、共有文書の整理と管理、電子掲示板の活用、連絡エクステンジの活用 等）
- ・複数顧問制による部活動運営
- ・学年道徳制による授業改善
- ・放課後学習会へのAIドリル導入
- ・会議内容、回数の精選
- ・18：30までに退勤
- ・年休の11日以上取得
- ・超過勤務月45時間以上の教職員50%以下